

工事進行状況報告(R4年8月～9月)

土工事(鋼矢板撤去及び埋め戻し)

基礎工事が終了し、周囲の土留めのために設置されていた鋼矢板(シートパイル)が撤去され、基礎の中に掘削した土を埋め戻しました。土は転圧された後、1階床のコンクリート工事に備え、厚さ3cmほどの防湿・断熱材が敷き込まれました。



地下ピット工事

地下ピット(配管・配線等のメンテナンス用のスペース)には、あらかじめ必要な配管を通しておくためのスリーブ(壁を貫通する部分の筒状の管)を設置しておきます。地下ピット床下の表層改良工事(強度を上げるための工事)をしたあとには、地下ピット上部スラブ打設(1階床コンクリート)の準備に入っていきます。

